

IHI、あいおいニッセイ同和損害保険、あおぞら銀行、朝日生命保険、味の素、アメリカンホーム保険、イオン、イトーヨーカ堂、イトキン、IMAGI
 CA、エクソンモービル、エーザイ、NEC、NECシステムテクノロジー、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ、エヌ・ティ・ティ・ソルコ、エヌ・ティ・
 ティ・データ通信、エヌ・ティ・ティ・ドコモ、エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ、荏原製作所、大内新興化学工業、大林組、オリエントコーポレーション、協
 同フロン、学研ホールディングス、学研プロダクツサポート、関西ペイント東京事務所、関電工、関東電気保安協会、かんぼ生命保険、共栄火災海上保険、協
 同セミナー、清原住電、キリンホールディングス、近畿日本ツーリスト、クラシエ、栗田工業、群馬銀行、京成電鉄、京浜急行電鉄、原子燃料工業、航空電
 子ビジネスサポート、コスモ石油、コスモビジネスサポート、小林製薬東京支社、五洋建設、コロムビアミュージックエンタテインメント、佐川急便、佐藤
 工業、三菱、産業振興、資生堂、資生堂化粧品販売、清水建設、自治労、蛇の目ミシン工業、ジャパンエナジー、JFEスチール、商工組合中央金庫、商船
 三井、城北信用金庫、昭和大学、信越エンジニアリング、信越化学工業、新生銀行、ジンダイ、新日本石油、住友金属物流、住友信託銀行、住友生命保険、
 住友電気工業、住友電設、住友電装、ソニー、損害保険ジャパン、タイヤ建設、第一生命保険、ダイエー、大京、大成建設、太平洋セメント、ダーバン、大
 同生命保険、ダイハツ工業、大和証券グループ本社、大和ハウス工業、中外製薬、帝国ホテル、電通、東海カーボン、東京海上日動火災保険、東京ガス、東
 京電力、東芝、東芝総合人材開発、東芝プラントシステム、トビー工業、トビー実業、飛鳥建設、ドン・キホーテ、日新火災海上保険、日新製糖、日清製粉
 グループ本社、日清紡、ニッセイ・リース、日本興亜損害保険、日本生命保険、ソフトバンクテレコム、日本電信電話、日本たばこ産業、日本電気協会、日本
 航空電子工業、日本山村硝子、ニューオータニ、農林中央金庫、ノザワ、野村証券、ハザマ、間組、パレスホテル、東日本旅客鉄道、東日本電信電話、日立
 アプライアンス、日立化成、日立キャピタル、日立金属、日立建機、日立情報システムズ、日立製作所、日立ソリューションズ、日立電線、日立電子サービ
 ス、日立ビルシステム、日立プラントテクノロジー、日立マクセル、富士火災海上保険東京本社、富士ゼロックス、富士通、富士電機ホールディングス、不
 動テトラ、マイカル、丸ノ内ホテル、マルハニチロ水産、丸紅、みずほインベスターズ証券、みずほ信託銀行、みずほ証券、みずほフィナンシャルグルー
 プ、三井住友海上火災保険、三井住友銀行、三井造船、三越、三菱化学、三菱地所、三菱自動車工業、三菱製紙販売、三菱倉庫、三菱東京UFJ銀行、三菱
 マテリアル、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJニコス、メック・ヒューマンリソース、明治安田生命保険、持田製薬、山崎製パン、ゆうちょ銀行、雪印乳
 業、ラサ商事、リクルート、りそな銀行、レナウン、東京都、大田区、品川区、港区、目黒区、千葉県佐倉市、千葉県松戸市、千葉県松戸市教育委員会、長
 野県御代田町、日本郵政グループ、練馬区社会福祉事業団、カトリック新聞社、カトリック中央協議会、浄土宗、浄土真宗本願寺派、真宗大谷派、神社本
 庁、世界救世教いづのめ教団、世界救世教主之光教団、全日本仏教会、曹洞宗、天台宗、天理教、東方之光、日本聖公会、本門佛立宗、立正佼成会、朝日新
 聞社、講談社、産業と経済、産経新聞社、時事通信社、集英社、小学館、星和ビジネスサポート、中央公論社、テレビ朝日、東京新聞、東京メトロポリタン
 テレビジョン、日本映画衛星放送、日本放送協会、日本放送出版協会、フジテレビジョン、双葉社、文藝春秋、ベネッセコーポレーション、ポニーキャニオ
 ン、マガジンハウス（順不同、2011年4月現在）

※統廃合などによって掲載されていない組織もあります。

人権啓発 東京講座

第24回
2011年度



キリトリ線

第24回人権啓発東京講座

聴講申込書

※第3日目・第4日目、第8日目(午後)、第9日目は、聴講できません。

フリガナ お名前			勤務先 部署名		
勤務先 所在地	〒 _____		TEL :	FAX :	
聴講関係 書類送付先 (上記と異なる 場合のみ)	〒 _____ ご担当者名		TEL :	FAX :	
聴講希望 講義 (○印をつけて ください)	第1日目(9/14) ②+③	第6日目(10/6) ① ②+③	第10日目(10/20) ① ②+③	第2日目(9/15) ① ②+③	第7日目(10/12) ① ②+③
	第5日目(10/5) ① ②+③	第8日目(10/13) ①	第12日目(10/27) ① ③	第11日目(10/26) ① ② ③	
聴講料のお支払い方法 いずれかに☑してください。	<input type="checkbox"/> 振り込み	<input type="checkbox"/> 請求書 必要 <input type="checkbox"/> 請求書 不要	振込予定日 (月 日)	<input type="checkbox"/> 当日払い	<input type="checkbox"/> 請求書 必要 <input type="checkbox"/> 請求書 不要

キリトリ線

第24回人権啓発東京講座

受講申込書

フリガナ お名前			勤務先 部署名		
勤務先 所在地	〒 _____		e-mail :	TEL :	
				FAX :	
受講関係 書類送付先 (上記と異なる 場合のみ)	〒 _____ ご担当者名		e-mail :	TEL :	
				FAX :	

※正確にお書きください。なお、ご記入いただきました個人情報は、講座の運営上の目的以外には使用いたしません。
 ※ふりかえりシートをお送りいたしますので、個人用(職場・自宅どちらでも可)のメールアドレスを必ず明記下さい。

■ 21世紀は「人権の世紀」です。

「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」を職場や地域で具体化させ、人権の文化を育てましょう。

■ 部落問題をはじめとする人権問題の基礎講座です。

部落問題をはじめ様々な人権問題について学習したいというご要望にお応えするとともに、具体的な取り組みに学ぶ講座です。

■ 体験と交流、学習者が主人公です。

現地学習・交流学習などの体験学習、自分の問題意識を深めるグループワーク、受講生間の交流・仲間づくりを大切にする講座です。

■ 人権教育のための世界プログラムに対応した学びを創ります。

そのキーワードは人権リーダーの養成です。

私たちの暮らしの中に人権文化を築くために、職場や地域の中で人権学習を推進する「人権リーダー」を養成する講座でもあります。

開催要綱

主催 社団法人 部落解放・人権研究所

後援 部落解放同盟中央本部、全国人権教育研究協議会、
『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議、
東京人権啓発企業連絡会、東日本部落解放研究所、
財団法人 松本治一郎記念会館

会場 松本治一郎記念会館

〒104-0042 東京都中央区入船1-7-1
TEL 03-6280-3360

定員 80人(聴講生含む)

受講料 120,000円+消費税

- 受講料、テキスト代を含みます。
- 現地学習での交通費は含みません。

会場付近地図



JR京葉線「八丁堀駅」より4分
 地下鉄日比谷線「八丁堀駅」A2出口より3分
 地下鉄有楽町線「新富町駅」7番出口より7分

キャリア形成促進助成金について

この制度は、厚生労働省の制度で、企業内における労働者のキャリア形成の効果的な促進のため、目標が明確化された職業訓練の実施、職業能力開発休暇の付与、長期教育訓練休暇制度の導入、職業能力評価の実施またはキャリア・コンサルティングの機会の確保を行う事業主に対して助成する制度です。制度の詳細については、雇用・能力開発機構 各都道府県センターにお問い合わせください。

ホームページ <http://www.ehdo.go.jp> (雇用・能力開発機構)

受講申込方法

2011年7月29日(金)までに、裏面の申込書に必要事項を記入し、部落解放・人権研究所啓発企画室「人権啓発東京講座事務局」まで郵送またはFAXにてお申し込みください。受講決定通知と請求書を送付します。

お申し込み並びに問い合わせ先

社団法人 部落解放・人権研究所 啓発企画室
〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37 HRCビル8F
TEL 06-6581-8576 FAX 06-6581-8540
E-mail:keihatsu@blhri.org

受講料は、2011年9月9日(金)までに、下記の銀行口座にお振り込みください。

振込先

りそな銀行桜川支店 普通預金 **4043343**
社団法人 部落解放・人権研究所 人権啓発東京講座

期間

2011年 9月14日(水)～
10月27日(木)までの期間の**12日間**

受講生は原則として全講義を受講してください。

※8割以上の出席とふりかえりシートの提出が修了の要件ですので、あらかじめご了承ください。

聴講申込方法

各講義の聴講生を認めます。
1講義の聴講料は3,000円(学生は1,000円)(税込み)です。
(セット講義の場合は、3,000円×コマ数分)

裏面の申込書をご利用の上、聴講料は事前に左記の銀行口座にお振り込みいただくか、当日、受付にてお支払いください。

資料等の準備がありますので、聴講申込書に必要事項を記入し、できるだけ事前にお申し込みください。

但し、第3日目・第4日目、第8日目(午後)、第9日目を除きます。

修了生の声

松戸市市民環境本部企画管理室 **鈴木 由美子** (第23回 修了生)



人権啓発東京講座を受講することにより、部落問題をはじめ女性や外国籍住民、障害者、子どもの人権など様々な人権問題について学ぶことができました。また、参加者の多くが企業の方であり、いろいろな業種の方と研修を通じ意見交換を行うことができ、とても良い刺激を受けることができました。

講師の方々そして現地学習では貴重なお話をいただきありがとうございました。当事者の方のお話を直接伺うことにより、私たちの身近なところで起こっている差別の実態や辛い思いを感じました。人権について学ぶことは仕事のためだけでなく、みんなのため、自分のため、社会の中で生活していくために必要であるとあらためて感じました。今回の講座で学んだことを生かして、自分自身にとってライフワークと言えるよう、差別に気づく力を養い、人権に対する意識を持って、これから過ごしていきたいと思っております。

株式会社 瑞雲 **添田 浩一** (第23回 修了生)



東京講座に参加しての感想を書かせて頂きます。
はじめに、講義内容をみた時かなりのボリュームに驚いたと同時に講義内容が自分の中で理解できるだろうかと不安がありました。講師の先生が、差別について話される時、感情が抑えられなくて涙を流された時、私自身も涙を流していました。

また、現地学習では当事者から生の声を聞かせて頂きその実態の凄さに驚かされました。この東京講座での12日間の学びは、自分にとりまして今後、差別に対する意識を変えていかなければいけないと思わせて頂いた研修となりました。何人かの講師の先生も仰っていましたが、「まず差別を学ばなければ差別はなくなる」と、自分自身も知らず知らず「差別」を差別だと思わずにしていた事に気づかせて頂きました。歴史の中で、何故差別が出来てきたのか、また現代社会における差別問題等をこの研修を通して学ぶ事が出来ました。この研修で学んだ事を一人でも多くの人に伝えていきたいと思っております。有難うございました。

農林中央金庫 **小畑 年雄** (第23回 修了生)



第23回の東京講座につきましては、部落問題を中心に様々な人権課題等について学び・感じ(驚き・怒り・悲しみ・切なさ等)・気づく機会となり、職場内の人権担当である私にとって大変有意義な講座であり、職員等に対する人権啓発・研修、ハラスメント相談窓口等の実践の場面において大変参考となり、活かせるものとなりました。

また、様々な業態の企業・団体・組織等で人権啓発等に携わっている方々と一緒に学ぶことで、多くの方が人権問題に本当に真摯に取り組まれている姿を拝見することが出来たこと、その方々と一緒に学び、時には議論し、あるいは取組事例や先進事例をお聞きすることができ大変貴重な機会でした。

なお、私はこの講座を連続して受講いたしましたが、毎年、新たな認識や感じる事、再認識することなど沢山ありました。また、私個人にとりまして、社会生活30年以上になりますが、業務上だけでなく個人として社会・地域・家庭生活を送る上においても考える良い機会になり今後、活かして行きたいと思っております。

山崎製パン株式会社 **伊藤 郁也** (第23回 修了生)



昨年9月から11月にかけて開講された「第23回人権啓発東京講座」に参加しました。
12日間に亘る当講座は、さまざまな人権課題に取り組んでいる講師の方や差別問題の当事者の方からの講義、また現地での学習など、新任人権啓発担当者に必要な基礎知識を体系的に学べる充実したカリキュラムになっています。

どの講座も各分野の専門講師から最新題材を用いた熱心な講義であり、また現地学習では実態学習や当事者の声に直接ふれることができました。このことは、ビデオ学習や資料学習では得ることができない内容であり、人権担当者として「見て・聴いて・感じる」ことの大切さを改めて感じる事ができる大きな財産になると思います。そして、もう一つの大きな財産は期間中のグループワークを通して、異業種でありながらも悩み・疑問を共有できる仲間ができたことだと思っております。今後は、当講座で学んだことを社内の研修・啓発活動に活かしていきたいと思っております。

これから受講される皆さまにとって、この講座が充実した有意義なものとなるよう心よりお祈りいたします。

講義内容

	① 9:30~11:30	② 12:30~14:40	③ 15:00~17:10	17:10~17:30
第1日目 9月14日(水)	開講式 オリエンテーション(グループ編成) 受講生の自己紹介	部落の歴史① 寺木伸明(部落解放・人権研究所理事)	部落の歴史② 寺木伸明(部落解放・人権研究所理事)	班ごとの ふりかえり
第2日目 9月15日(木)	部落は「埋没」しているか —東京の実態から 浦本誉至史(東京部落解放研究所 研究員)	人権の概念と歴史① 友永健三(部落解放・人権研究所理事)	人権の概念と歴史② 友永健三(部落解放・人権研究所理事)	班ごとの ふりかえり
第3日目 9月28日(水)	移動	宿泊研修(長野) 現地学習	宿泊研修(長野) 現地学習	
長野現地学習 1泊2日の宿泊研修で宗教と部落差別(問題)、被差別部落の歴史と現状等について学習します。				
第4日目 9月29日(木)	宿泊研修(長野) 現地学習	宿泊研修(長野) 現地学習	宿泊研修(長野) 現地学習	移動
第5日目 10月5日(水)	女性と人権 竹信三恵子(和光大学)	差別をなくす社会システムのあり方① 北口末廣(近畿大学)	差別をなくす社会システムのあり方② 北口末廣(近畿大学)	班ごとの ふりかえり
第6日目 10月6日(木)	在日コリアン・外国籍住民の人権 —構造化される貧困 佐藤信行(在日韓国人問題研究所 所長)	「参加型学習とその応用」① 佐藤宏幸(ERIC国際理解教育センター)	「参加型学習とその応用」② 佐藤宏幸(ERIC国際理解教育センター)	班ごとの ふりかえり
第7日目 10月12日(水)	障害者と人権 野沢和弘(毎日新聞論説委員、植 草学園大学)	部落解放運動の歴史・部落差別 のとらえ方① 谷元昭信(部落解放同盟中央本部 書記次長)	部落解放運動の歴史・部落差別 のとらえ方② 谷元昭信(部落解放同盟中央本部 書記次長)	班ごとの ふりかえり
第8日目 10月13日(木)	人権啓発ビデオを利用した 人権研修のあり方 野口晃嗣(東京人権啓発企業連絡会、 朝日生命保険(相))	墨田地区の現地学習① 現地学習	墨田地区の現地学習② 現地学習	班ごとの ふりかえり
第9日目 10月19日(水)	← 終日 現地学習	← 終日 現地学習	← 終日 現地学習	← 終日 現地学習
国立ハンセン病資料館見学	国立ハンセン病資料館見学	国立ハンセン病資料館見学	国立ハンセン病資料館見学	
第10日目 10月20日(木)	過労死・過労自殺と人権 川人 博(弁護士)	職場のハラスメントなぜ起きる、 どう対処する① 金子雅臣(職場のハラスメント研究 所所長)	職場のハラスメントなぜ起きる、 どう対処する② 金子雅臣(職場のハラスメント研究 所所長)	班ごとの ふりかえり
第11日目 10月26日(水)	子どもの人権 井上 仁(日本大学)	性的少数者と人権 上川あや(世田谷区議会議員) 依頼中	ことば・表現をとらえて人権を考える 西谷隆行(東京人権啓発企業連絡会常務 理事、啓発委員長、(株)学研ホールディング ス、(株)学研ビジネスサポート出版総務室)	班ごとの ふりかえり
第12日目 10月27日(木)	人権・同和教育の現状と課題 中村清二(部落解放・人権研究所事 務局長)	12:30~14:50 班ごとに講座のふりかえりと今 後の人権研修にむけての行動計 画づくり	15:10~16:40 部落解放運動がめざすべき方向 組坂繁之(部落解放同盟中央本部 執行委員長)	16:50~ 20:00 修了式 (受講生)

※ **現地学習** のコマは、聴講を受けつけておりません。